第１回大磯駅前用地利活用検討委員会　結果概要

〔日時〕平成 25 年９月 11 日（水）13:30～16:00
〔場所〕４階第１会議室
〔出席者〕
（委 員 長）国吉　直行　委員（学識経験者）
（副委員長）井上　浩吉　委員（大磯町観光協会会長）
（委　　員）荒金　謙次　委員（神明町区長）
成瀬　秀樹　委員（北本町区長）
加藤　仁美　委員（学識経験者）
蒔田　　一　委員（大磯町商工会理事）
栗城　義雄　委員（大磯警察署地域課長）
池田　雅男　委員（神奈川県湘南地域県政総合センター企画調整部長）
関野　好一　委員（公募町民）
野田美佳子　委員（公募町民）
藤木　隆男　委員（学識経験者）
小林　基起　委員（学識経験者）
（事務局）９名
（傍聴人）８名

１．あいさつ
●委員長あいさつ
委員長に指名されました国吉です。私の姪が大磯町に住んでいるので、大磯の歴史は姪からずっと聞いていた。また、建築学会の神奈川支所長という肩書きもあり、旧吉田茂邸の見学会も行ったことがあるため、別荘建築の多い大磯町の勉強も行っていた。先ほど中﨑町長から「大磯駅前用地の利活用方策について」考えてほしいと言うことで諮問を受けた。任期が２年間となっている。本検討委員会で、全体のゾーニングと、もう少し細かい部分と二段階で考えていくことになる。有意義な委員会になるようご協力お願いしたい。
本日の議題については、「大磯駅前用地利活用に関する概要説明」と「現地見学」の２件となっている。おおむね午後３時 30 分を目途に進めたいと思うので、よろしくお願いしたい。

２．議題
●大磯駅前用地利活用に関する概要説明
・事務局により資料に基づき説明
・質疑
【委　員】駐輪場の規模が 1,505 台とのことだが、どのような根拠か。分散する 120 台を図書館駐車場に配置するとのことだが、図書館の利用者用の駐車台数を減らすことになるのか。駅前に自転車が集中してしまうのは良くないので、他の分散場所も

考えるべきではないか。

【事務局】土地利用の検討に当たって、自転車駐車場の規模や分散化、導線については、自転車等駐車対策協議会で決定した内容を前提としている。協議会での検討内容について説明させていただく。

【事務局】現在の東と西の駐輪場合わせると 1,505 台収容できる施設となっている。現状としては、予約待ちの方が少しいて１、２ヶ月で入れる状況が続いている。このような状況を加味して自転車等駐車対策協議会において現在の規模を維持していくこととなった。しかし、今回検討する用地に建設する施設をできるだけコンパクトにしたほうが良いと言うことで、分散化の検討を行った。検討の結果、現実性があった土地が、図書館駐車場の奥の土地である。現在公用車を駐車している土地であるため、図書館利用者の駐車台数には影響は無い。

【委員長】1,505 台はすべて月極の台数か。

【事務局】月極が約 1,300 台で、日貸しが約 200 台である。

【委　員】町道（大磯 48 号線）の現況の幅員は。

【事務局】現況は約４m。

【委　員】歩道の設置を考えると現況の幅員では足りないため、拡幅が必要だと思われる。この委員会で道路のことも検討する必要があるのか。また、委員会の運営にあたって、３回目以降に各委員の考えている意見を発表する場を設けてはいかがか。また、次回の日程をこの場で決めてほしい。

【事務局】道路の拡幅については、町で実施する部分と県道においては県と調整をしなければならない部分がある。また、隣接の地権者が絡んでくる箇所もある。ただ、町の位置付けとして、バリアフリー基本構想にもあるので、将来的には、バリアフリー化をはかっていくことになるが、現実的には、いつ拡幅できるかわからないため、この委員会では、敷地内のゾーニングや構想を考えていただきたい。委員会の進め方については、まず、駐輪場のゾーニングを進めなければならない。その後、それ以外の土地利用について検討をお願いすることになるが、その進め方については、委員長と相談させていただきたい。

【委員長】今後のスケジュールや進め方については、事務局で相談して決めさせていただきたい。

【委　員】土地利用ということで、内容が広範囲となっているが、まず、はじめに考えなければいけないのは、駐輪場建設場所だと思う。現在駐輪場を利用しているが困らないようにしなくてはならない。

【委員長】次回の委員会で、暫定的な駐輪対策が出てくると思う。この土地は将来的にも大切な土地であるので、町民の方々が満足する土地利用をするために多角的に考える必要もある。次回の委員会でいろいろな資料が出てくると思うので、その場でいろいろなご意見をいただきたい。

【委　員】以前、石垣の問題があったが、現在はどうか。

【委員長】次回アンケート結果等を提示することとなっているが、当該用地に対する町民からのご意見をまとめたものも提示されると思うので、その中に石垣について触れている意見もあるかもしれないので、一緒に扱っていけば良いと思う。

【委　員】駐車対策協議会とこの委員会の関係を教えてほしい。
【事務局】駐車対策協議会では、施設規模、進入導線、運営方法など、駐輪場について建設も含めて決めていただき、この委員会では、その駐輪場をどのあたりに配置して、それ以外にどのような活用ができるのかを検討していただく場である。
【委　員】既存の東駐輪場の土地は、その後どのように活用するのか。
【事務局】東駐輪場の隣には、商店、観光協会、交番がある。進入導線を考えるとその３つの建物も後退や移築を考えなくてはならないので、そのための用地としても活用が考えられる土地である。
【委　員】駅前交番も老朽化しているので、建替えを考えると既存駐輪場の土地を利用できるとありがたい。
【事務局】既存駐輪場の土地に後退することが決定事項ではない。視野に入れた中で検討することになると思う。そのような意見があったことも踏まえて最終決定していくことになる。
【委　員】西駐輪場の契約終了後、所有者は駐輪場を継続しないのか。
【事務局】駐輪場としては継続せず、用途を変えると聞いている。具体的に何に活用するかは決まっていないとのこと。
【委　員】駅前全体を考えなくてはならない。駐輪場だけ決めるだけでは良くない。
【委員長】駅も含めて駅周辺を全部となると難しいと思うが、駐輪場だけを考えると言うことではなく、駐輪場以外の土地利用についてもどのように活用するかを考える場であると思うがスケジュールが決まっているので、すべてを同時に考えることは難しいので、全体像を見ながら効率的に必要なことから決定してはどうかと考える。
【委　員】大磯町全体を考えてこの土地をどのように活用するか考えるということでよいか。
【委員長】考え方としては、大磯町のこれからのあり方を考えた中で検討して良いと思う。ただし、駐輪場を作るという前提で考えた時に、ただ駐輪場を作れば良いということではなく、地形を活かし、大磯の街全体を考えたときにどのようなものにしたら良いか、意見をいただければと考えるがそれで良いか。
【事務局】町民の皆様から出ているご意見等も提示するので、そのような意見も踏まえて土地利用を考えていただきたい。

・次回委員会の日程調整
調整の結果、７日午後１時 30 分から開催することに決定。

・事務局より資料提供について
委員から土地の履歴がわかる資料の提供があったので、次回の委員会で内容を精査し提供することとした。

●現地見学
・公用車で駅前用地に移動後、現地を見学。

以上